



プリズナーズ・オブ・ゴーストランド

2021年/アメリカ映画
配給：ピタース・エンド/105分

2021 (令和3) 年 10 月 9 日鑑賞

TOHO シネマズ西宮 OS

監督：園子温
脚本：アーロン・ヘンドリー
／レザ・シクソ・サフ
アイ
出演：ニコラス・ケイジ／ソ
フィア・ブテラ／ビ
ル・モーズリー／ニッ
ク・カサヴェテス／
TAK.:／中屋柚香

みどころ

私はクエンティン・タランティーノ監督の映画と世界観が大好きだが、園子温監督のそれらも大好き。日本の枠をはみ出した感覚の彼にかかれば、“パンテラ” からどぎつい“悪人”の演出まで、メチャおもしろい。

そんな彼のハリウッドデビュー作がこれ。コロナ禍のため、日本での撮影になったが、たっぷりの無国籍色はさすが。ニコラス・ケイジの快演もすごい。もっとも、止まった時計の意味を理解できる観客は、How many？

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

◆まず、『愛のむきだし』（08年）（『シネマ22』276頁）に驚き、続いて『冷たい熱帯魚』（10年）（『シネマ26』172頁）では、李相日監督の『悪人』（10年）（『シネマ25』210頁）や石井隆監督の『スードの夜／愛は惜しみなく奪う』（10年）（『シネマ25』183頁）等と肩を並べる“悪人”の演出にびっくり仰天させられた監督が園子温。この男はいったい何モノ？その作品もすごいが、『冷たい熱帯魚』で起用した豊満女優神楽坂恵と電撃結婚したから、私生活でもびっくりだ。

その後、2011年3月11日に発生した東日本大震災を受けての、『ヒミズ』（11年）（『シネマ28』210頁）や『希望の国』（12年）（『シネマ29』37頁）における問題提起も鋭いもので、面白かった。もっとも、その後の『地獄でなぜ悪い』（13年）（『シネマ31』247頁）はそれなりに良かったが、『新宿スワン』（15年）（『シネマ35』未掲載）はイマイチだった。ハリウッドには、クエンティン・タランティーノ監督という“鬼才”がいるから、このふたりが組めば面白い映画ができることは確実だが、本作品で園子温監督は、ハリウッドの“異才”俳優ニコラス・ケイジとタッグを組むことに。

◆タランティーノ監督は日本が大好きだし、チャンバラ、侍、忍者、芸者等も大好きだから、『キル・ビル～Kill Bill～Vol.1』（03年）（『シネマ3』131頁）、『キル・ビル～Kill Bill～Vol.2 ザ・ラブ・ストーリー』（04年）（『シネマ4』164頁）はメチャ面白かった。また、私の高校時代に登場した「マカロニ・ウェスタン」の数々には驚かされたが、

三船敏郎、アラン・ドロン、チャールズ・ブロンソン、という世界の三大俳優が共演した『レッド・サン』（71年）も、国境の枠を超えた面白い映画だった。私が中学時代に通った映画は吉永小百合・浜田光男共演の『日活青春モノ』だが、その少し前には、小林旭をヒーローとした“無国籍映画”なるものがあった。

◆本作は、悪名高き銀行強盗として登場するヒーロー（ニコラス・ケイジ）が、相棒のサイコ（ニック・カサヴェテス）と共に、サムライタウンの銀行を襲撃するシークエンスから始まる。これを見ただけで、まさに本作が園子温流の今どきの無国籍映画であることがわかる。サムライタウンを牛耳っている男はガバナー（ビル・モーズリー）、その用心棒がヤスジロウ（TAK.）、だが、吉原を彷彿させる遊郭の女たちがうごめくこの町は一体ナニ？

ある日、サムライタウンの牢の中に閉じ込められていたヒーローは、公衆の面前にふんどし姿で呼び出されたうえ、ガバナーの魔手から逃げ出したガバナーお気に入りの美女パーニス（ソフィア・ブテラ）を連れ戻すよう命令されたが、その条件は？

◆身体中に何ともけったいな装置を付けられたヒーローは、仕方なくパーニスが消息を絶ったゴーストタウンなる街に入ったが、ここは、入ったら最後、二度と出られなくなる街らしい。こんな脚本なら、園子温監督の才能がささわたるはずだ。

ゴーストタウンに住む①動かなくなった車を修理し続けるラットマン（YOUNG DAIS）、②人間をマネキンに閉じ込めるキュリ（栗原類）、③すべてを見つめる男ナベ（渡辺哲）、彼らのキャラは面白い。ゴーストタウンの住人たちは、口々に「ガバナーがいる限り、我々は時計を止めねばならない。そうしないと世界は爆発する」と訴えていたが、それって一体どんな意味？

◆タランティーノ監督の世界観は、『キル・ビル～Kill Bill～Vol.1』『キル・ビル～Kill Bill～Vol.2』や『ジャンゴ 繋がれざる者』（12年）（『シネマ30』41頁）を観ればよくわかる。それに対して本作で提示する園子温監督の世界観は？それは、あなた自身の目でしっかりと確認してもらいたい。

本作におけるゴーストタウンの象徴は大きな時計台。この時計が8時14分で止まったままになっているのが本作のミソだ。これは、広島に原爆が投下された1945年8月16日午前8時15分の一分前だが、なぜ園子温監督はハリウッド初の監督作品で、そんな“主題”を盛り込んだの？

2021（令和3）年10月15日記